

## 3年ぶりリアル開催となる Society5.0 の総合展 「CEATEC2022」で「I-TO-P横浜」をPRします

横浜市は「I-TO-P横浜」の取組を通じて、IoT や AI といった先端技術を用いた新規ビジネス創出に取り組んでいます。また、経済産業省と（独）情報処理推進機構（以下、IPA）では、地域におけるIoTプロジェクト創出のための取組として「地方版IoT推進ラボ（裏面参照）」の選定・支援を行っており、横浜市では「I-TO-P横浜」創設当初から、同ラボに参画しています。

**この度、国内最大級の Society5.0 の総合展「CEATEC2022」の「地方版IoT推進ラボ」ブース内において、「I-TO-P横浜」の取組を現地で初めて出展するとともに、1日1回（会期中合計4回）、同ブース内で、「I-TO-P横浜」の取組をプレゼンテーションします。**

今回の出展を通じて、横浜市の実証実験支援の概要や具体的な取組事例を紹介し、新規プロジェクトの発掘、オープンイノベーションの加速化につなげます。

### 1 CEATEC2022 の概要

名称	CEATEC2022（シーテック 2022） （Combined Exhibition of Advanced Technologies）
会場	幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬2-1）
会期	令和4年10月18日（火）～21日（金）午前10時～17時
入場料金	無料（入場にはオンラインでの事前登録が必要です。）
主催	一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）
共催	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ） 一般社団法人ソフトウェア協会（SAJ）
運営	CEATEC 運営事務局（一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会）
出展位置 （小間番号）	T012（IPAブース内）

## 2 プレゼンテーションセッションについて

CEATEC2022 開催期間中、以下日程でブースプレゼンテーションを予定しています。横浜市の IoT オープンイノベーションプラットフォーム「I・TOP横浜」の取組についてご紹介いたします。

テーマ： I・TOP横浜 ～横浜市内で実証実験を行いませんか～

内容： 横浜市の実証実験支援の概要や具体的な取組事例について

日時： ① 10月18日(火) 11:10～11:25

② 10月19日(水) 16:35～16:50

③ 10月20日(木) 14:55～15:10

④ 10月21日(金) 16:10～16:25

場所： 小間番号 T012 IPA 展示エリア内プレゼンテーションブース

### 【参考】

#### I・TOP横浜 (IoT オープンイノベーション・パートナーズ) について

##### 【I・TOP横浜 (IoT オープンイノベーション・パートナーズ) とは】

横浜経済の強みである「ものづくり・IT 産業の集積」を活かし、IoT 等 (IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等) を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。

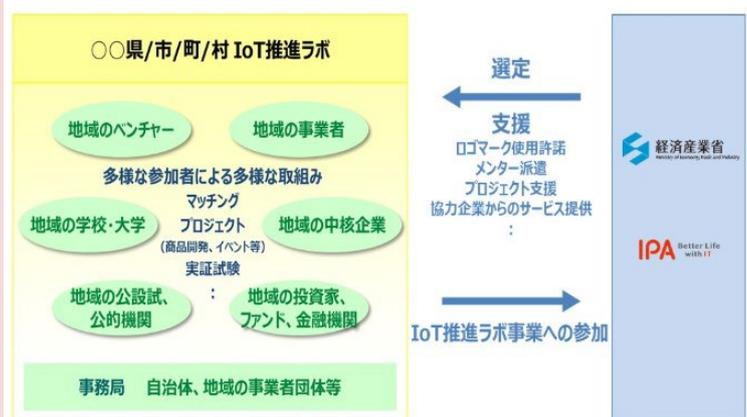


#### 地方版 IoT 推進ラボについて

##### 【地方版 IoT 推進ラボとは】

近年、モノとモノの間の通信に用いる IoT の動きが急速に普及し、生産性向上の切り札としての IT の活用が進んでいます。

こうした中、産官学連携により IoT 推進コンソーシアムが設立され、その下で IoT 推進ラボは大規模社会実装に向けた規制改革・制度形成等の環境整備を行う一方で、地方においても、IoT や AI を活用し、地域の課題解決と経済発展を推進していくことが期待されます。



[https://local-iot-lab.ipa.go.jp/about\\_iotlab.html](https://local-iot-lab.ipa.go.jp/about_iotlab.html)

お問合せ先

経済局産業連携推進課担当課長 松本 圭市 Tel 045-671-3591

※ 本件は、横浜経済記者クラブにも同時発表しています。